



2017年12月号の月刊美術に
樋口ひろ子展が143Pに
掲載いただきました

今月の注目展 ⑥

樋口ひろ子展 「少女式庭園 百年のかりそめ」

— 銀座かわらそ画廊(京橋)

幸せの象徴としての和服美人



《少女式庭園》 41×31.8cm キャンバス アクリルガッシュ 金箔 パンバステル



《花のウナジ》 36×14cm キャンバス アクリルガッシュ 金箔 パンバステル

樋口ひろ子展 「少女式庭園 百年のかりそめ」

会期 — 11月25日(土)~12月1日(金) 水曜休廊

12時30分~19時(最終日16時まで)

会場 — 銀座かわらそ画廊

東京都中央区京橋3-6-21 十合ビル3F

☎03(3535)3931

《ソノカタの事、もっとお話しして。》

34×45cm

キャンバス アクリルガッシュ

プラチナ箔 金箔 パンバステル



金箔を凝らした琳派のような華やかな画面と渋い着物という和のテイストで目の大きな西洋人形のような特徴的な女の子像を描く樋口ひろ子イラストレーターとして活躍したあと、10年ほど前からは画家としての活動を始め、これまで数回の個展歴がある。

「好きで集めたアンティークの着物から着想することが多いです。モデルさんに来てもらってポーズを決めたり、友禅の絵柄を作品全体のモチーフにしたりしています。」

松竹梅や宝船といった和服の古典的な図柄に込められているのは、着る人に幸せになってもらいたいという吉祥の願い。画家は自分が描く少女にも幸せになってほしいという思いを重ねて作品を描く。

銀座かわらそ画廊で初個展となる今展では、モデリングベーストで盛り上げた上に金箔やプラチナ箔を貼ることで迫力ある立体感を出すなど、これまでにない表現にも挑戦。新作近作、合わせて15点余が新しいファンを獲得するに違いない。

ひぐち・ひろこ
トキワ松学園女子短期大学造形美術科グラフィックデザインコース卒(横浜美術大学)。デザイン会社勤務後フリーイラストレーターとして活躍。2008年から画家として活動。



2017年12月号の月刊美術に
久下じゅんこ展が102P-103Pに
掲載いただきました



《抱擁》 15F キャンバスにアクリルガッシュ

Junko KUGE

久下じゅんこ

花のような少女の輝き

可憐な少女を描く久下じゅんこの2回目の個展が銀座かわうそ画廊で開催される。昨年6月の同画廊での初個展では、純粋な少女の表情と衣裳の質感を繊細に描きだした20点が完売。その後ますます人気が高まり、今年の阪神百貨店のグループ展やホテルアートフェアの神戸アートマルシェでも出品作すべてに赤丸が付く人気ぶりだ。「美しく咲く花を見ると、誰もがその華やかさや綺麗さに心が癒されます。そんな風に飾ってかわいいと感じてもらえる女の子の作品を描きたかった」と画家。特に肌の質感やレースの細かい表情は時間をかけて描く。

今展のテーマは「銀色の回廊」。彩やかな花の輝きによって空間全体がキラキラと光で満たされるような展示を目指す。

舞台美術で培った豊かな構力が、画面それぞれに活かされている。人物の手の表情も、繊細に心をこめて描きだされて少女の魅力を引き出している。今回は大人の女性になる一歩手前の女性をよりリアルに描いた新作を出品。10余点すべてが作品全体の細密度も上がっているという。さらなるブレイクが期待される。

(編集部)



2017年10月号の月刊美術に
『銀座かわうそ画廊』を掲載いただきました



《花の足跡》 20F キャンバスにアクリルガッシュ



《ガーベラ》 8M キャンバスにアクリルガッシュ



《淡雪》 10F キャンバスにアクリルガッシュ

久下じゅんこ展 銀色の回廊
 会期 12月2日(土)～8日(金)
 水曜休廊
 12時30分～19時(最終日は16時まで)
 会場 銀座かわうそ画廊
 東京都中央区京橋3-6-21
 十合ビル3F
 ☎ 03(3535)3931

くげ・じゅんこ
 大阪府生まれ。武蔵野美大卒業。イラストレーター、舞台美術で活躍。